

5年目に入る震災支援

2013 [3年目]

- 1/19 ●大根、ミニトマト 福島市仮設住宅
- 2/16 ●ブロッコリー8箱 南相馬市仮設住宅
- 2/18 ●雑巾300枚 宮城県亘理町荒浜小学校
- 3/12 ●宮城県亘理町仮設・福島県避難仮設
- 4/9 ●野菜 宮城県亘理町
- 5/16 ●手作り玉ねぎ9箱、ペーパーコーン1箱、手作り味噌2箱 福島仮設住宅
- 6/4 ●レタス1800個(188箱) 福島仮設住宅、宮城県(雄勝町、女川町、亘理町)
- 8/17 ●ゴーヤ 福島仮設住宅
- 8/25 ●玉ねぎ、そうめん(長仙寺・医王寺・九聖院より) 福島仮設住宅
- 10/22 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 11/30 ●冬用スパッツ、靴下8,000足 福島仮設住宅24箇所
- 12/6 ●みかん12箱 福島仮設住宅5ヶ所



2014 [4年目]

- 1/13 ●衣類 宮城仮設住宅
- 2/16 ●野菜 福島仮設住宅
- 3/15・16 ●田原の道の駅さんの協力でキャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米900キロ、そのほかの野菜、果物130ケース 仮設住宅(宮城、岩手、福島)
- 4/23 ●布生地 福島仮設住宅
- 5/1 ●甘夏みかん 仮設住宅(宮城、福島)
- 5/10 ●夏みかん、タマネギ 福島仮設住宅
- 6/9~12 ●宮城、福島へ訪問支援(野菜、おもちゃ)
- 6/21 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 7/9 ●ドライフルーツ 福島仮設住宅
- 8/18 ●そうめん段ボール5箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 9/25 ●夏野菜 福島蓬萊若枝幼稚園
- 10/25 ●甘柿 福島蓬萊若枝幼稚園
- 11/21 ●キャベツ100個 福島仮設住宅
- 12/4 ●みかん段ボール(各)10箱 福島仮設住宅、福島さくらみなみ保育園



2015 [活動報告]

- 1/6 ●ミニトマト 福島仮設住宅

お問い合わせ・連絡先

ゆずりは学園事務局
 〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
 TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
 e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
 http://www.yuzuriha-gakuen.com/
 http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
 http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

お知らせ

自閉症・アスペルガー等の
 「発達障害」の子を持つ親の会
ゆずりはの会 (157回)
 ○日時/1月9日(金) PM1:30~3:00
 ○場所/ゆずりは学園
 (毎月第2金曜日 2/13・3/13・4/10)

NPO法人 ゆずりは学園

会員希望者

募集!!

- 賛助会員 年会費2,000円
- 正会員 年会費5,000円
- 寄付/自由

三菱東京UFJ銀行
 (普)田原支店
 座名義/ゆずりは学園 理事 香名智彦
 座番号/3627714

お便りを郵送します。
 お名前・ご住所をご連絡下さい。

福島市・さくらみなみ保育園・椎名敦子園長より

美味しいみかんをありがとうございました



高等学校初任者研修の先生より

ゆずりは学園での貴重な機会に感謝しています

この子たちが不登校になってしまふのだからと現代の学校教育と社会や家庭の問題についても考えさせられました。そういった貴重な機会を与えて頂けたことに心から感謝しております。また、現在勤務する学校で今後生徒の問題行動や何らかの課題に直面した際も、ゆずりは学園での体験、子供達の無邪気な笑顔、パパさんママさんの言葉を思い出し、糧にしていきたいと思っております。

の、実際の子供たちの様子や、規模、活動内容、環境等の実情についてはほとんど知りませんでした。事前に思い描いていた不登校ひきこもりの子供たちのイメージは、ステレオタイプから、暗く、無気力または反抗的な生徒像でした。ところが想像とは違い、御校の子供たちは明るく、優しく、のびのびと、穏やかな子が多く、非常に驚かされました。子供たちを包む自然豊かな環境と、それを見守る先生方の暖かいまなざしが子供たちを生かすこと成長するのを可能にしていると感じました。

10代、思春期は人間の人格形成、成長に大きな影響を与える非常に大事な時期と言われます。その時期に一度つまずいたり、居場所や生きがいを見失ってしまったら子供たちにとって、ゆずりは学園という場所はかけがえのない場所であること、この2日間を通して強く感じました。今の学校教育のどんな要素が彼らを居づらくさせているのだろう」「なぜこの子たちが不登校になってしまふのだから」と現代の学校教育と社会や家庭の問題についても考えさせられました。そういった貴重な機会を与えて頂けたことに心から感謝しております。また、現在勤務する学校で今後生徒の問題行動や何らかの課題に直面した際も、ゆずりは学園での体験、子供達の無邪気な笑顔、パパさんママさんの言葉を思い出し、糧にしていきたいと思っております。



お便り紹介

ゆずりは学園卒業生より

ゆずりは学園へのXmasプレゼント



メリークリスマス。パパ、ママ、いつもありがとう。中学、高校とお世話になったケド、大人になってもお世話になっていきます。今回お手紙を書いたのはちょうどXmasプレゼントがあるからです。

ゆずりはでミサンガを売らせてもらって半年、じつは少しだけ、ママさんとパパさんにも寄付したいって思ってた、売り上げの少しを貯めてきました。本心にちょうどだけと学園の為に使わせてね。

あいかわらず、私は毎日バタバタとして、「やりたい事が多くて時間が足りない」ってカンジ(笑)でも一つ一つ、ちゃんとして行くと、パパとママも身体を大事に無理のないように頑張ってます。じゃ、いつか来ます。愛してる。

ゆずりは学園クリスマス会 12/20(土)



さて、この度は、2日間にわたり愛知県高等学校初任者研修における社会奉仕体験活動として、御校の子供たちと接する機会を与えて頂き、誠にありがとうございました。

「フリースクール」については、大学で定義を学んではいたもの



ゆずりはの森から

第141号
 2015年1月6日発行



NPO法人 ゆずりは学園

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 社会人